

(電子入札システム)

## ご利用までの流れ

---

### 内容

---

1. 日本銀行電子入札システムについて
2. 利用開始までの流れ
  - (1) 日本銀行への利用者初期登録申請
  - (2) システム関連の事前準備の流れ(各手順についての説明)
  1. パソコンとソフトウェアの準備
  2. ICカードとICカードリーダーの購入
  3. ICカードリーダードライバーのインストール
  4. Javaポリシーの設定
  5. 信頼済みサイトへの登録
  6. 利用者登録 (工事システム/物品・役務システム)

### 1. 日本銀行電子入札システムについて

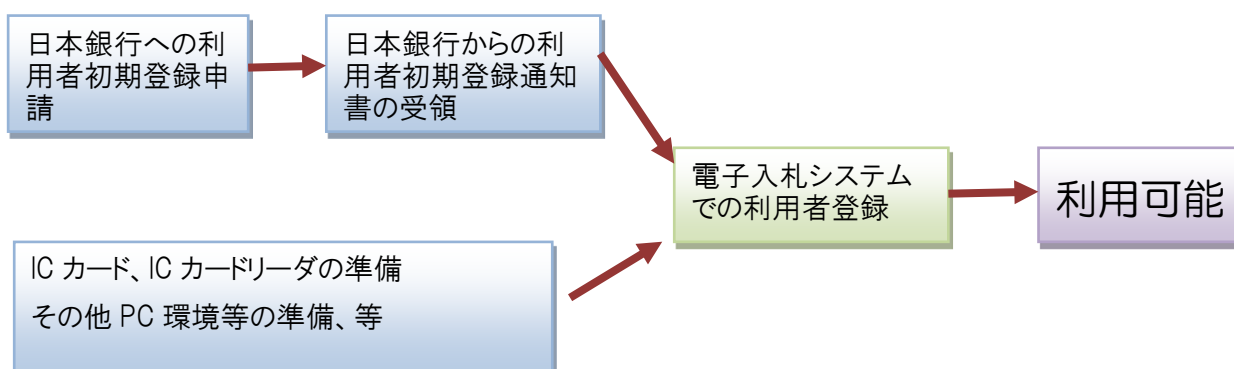
---

- 日本銀行では、本店の調達案件の一部（電子入札の対象は、当面、物品、工事、システム関係、役務等に係る本店の調達案件のうち日本銀行が指定した入札案件）について、電子入札を実施します。
- 電子入札の案件は、入札公募文においてその旨を明示します（入札公募文で「電子入札による」と明示されていない案件は、従来通り紙による入札です）。
- 日本銀行の電子入札システムを初めてご利用になる場合は、まず、「[利用規約](#)」をよくお読みいただき、内容を了承したうえで、「[利用者登録関係書式](#)」を利用して日本銀行に利用参加の申請を行ってください。
- 本資料の2. 以下により、電子入札システムの利用のために必要な準備や設定を確認してください。あわせて「[電子入札/入札情報システム 事前準備マニュアル～受注者編～](#)」も必ずお読みください。
- ご利用にあたっては、「[ご利用上の留意事項](#)」や各種操作マニュアルにしたがって、正しくご利用ください。

## 2. 利用開始までの流れ

### (1) 日本銀行への利用者初期登録申請

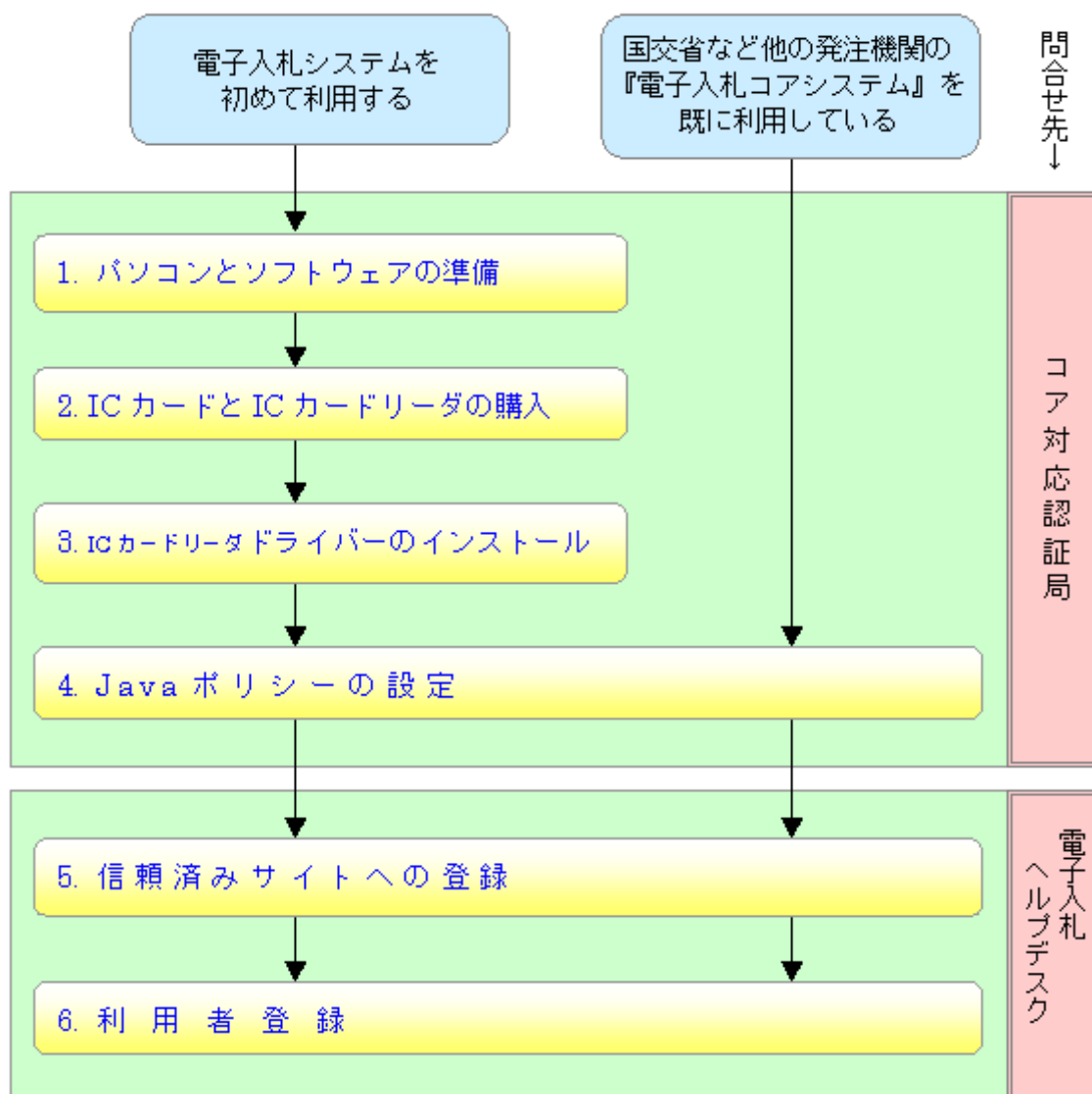
- 日本銀行電子入札システムを利用するためには、日本銀行に利用者初期登録の申請を行い、日本銀行が利用者としてシステムに登録する必要があります。まず、「[利用規約](#)」をよくお読みいただき、内容を了承したうえで、「[利用者登録関係書式](#)」を利用して日本銀行に申請を行ってください。
  - 利用参加の申請は、関係する調達事務を所管する部署に行ってください。提出先が不明の場合は日本銀行電子入札事務局までお問い合わせください。
  - 利用参加申請には、登記事項証明書等の添付書類が必要ですが、既に日本銀行に提出済みの場合は、提出不要な場合があります。詳しくは提出先部署にお問い合わせください。
- 日本銀行は、初期登録終了後、申請者に通知を行います。申請者は、日本銀行より通知された登録番号とICカードを使用して、日本銀行電子入札システムにログインし、利用者登録を行ってください。
  - 日本銀行への利用者初期登録の申請は、次項に記載のシステム関連の事前準備と並行して行うことができます。最終的なシステムへの利用者登録時点では、日本銀行から「利用者初期登録通知書」を受けていること、ICカードやPC環境の準備が完了していることが必要です。



## (2) システム関連の事前準備の流れ

- 電子入札システムを利用するための、事前準備の流れを下図に示します。
- 日本銀行は、国土交通省などの電子入札システムと同様の「電子入札コアシステム」を採用しております。このため、ICカード等をすでにお持ちの場合は、新規購入の必要はありません。
- なお、手順の詳細については、「[電子入札/入札情報システム 事前準備マニュアル～受注者編～](#)」をご参照ください。

### ▽ 利用開始までの流れ



## (各手順についての説明)

### 1. パソコンとソフトウェアの準備

電子入札システムにて使用するパソコンの推奨環境を次表に示します。  
このスペックを持つ機器類を準備するようにして下さい。  
なお、使用する IC カードの認証局によって必要条件が異なる項目がありますので、ご利用の認証局にご確認下さい。

本体	対応OSが動作するPC/AT互換機(DOS/V)
CPU	Core Duo 1.6GHz 同等以上推奨
メモリ	1.0GB以上推奨
HDD	1ドライブの空き容量が1.0GB以上
外部端子	ICカードリーダーライターが接続できること
モニター	解像度1024×768(XGA)以上
OS ブラウザ JRE実行環境	以下の別紙資料を参照すること 電子調達システムがサポートするJRE及びOS・ブラウザの組合せ
電子入札専用ソフト	ICカードの発行を受けた認証局より提供
接続回線	<ul style="list-style-type: none"><li>・インターネットへの接続手段を持つこと</li><li>・次のプロトコルが通過可能であること(HTTP、HTTPS、LDAP、SMTP)</li><li>・電子メールが送受信できる環境にあること</li><li>・システムを快適に使用するため、高速で安定した回線をご利用ください。</li></ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"><li>・ウイルス対策ソフト</li><li>・Windowsには1バイト文字だけで構成されたユーザでログインすること</li></ul>

電子調達サービス

電子調達システムがサポートするJRE及びOS・ブラウザの組合せ

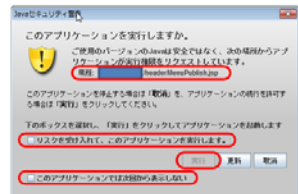
システム	JRE (32bit)	Windows7 Professional/Home Premium (32bit/64bit)				Windows8.1 普通/PRO (32bit/64bit)(8.5)	Windows10 Home/PRO (32bit/64bit)(8.5)
		SP1				-	Ver.1709 (Fall Creators Update) Ver.1803 (April 2018 Update)
		E8(※1)	E9(※1)	E10(※2)	E11(※2)	E11(※2)	E11(※2)(※7)
電子入札 / 入札情報	JRE7 Update11.17(※9)	○	○	×	×	×	×
	JRE7 Update15(※9)	○	○	○	×	×	×
	JRE7 Update21(※9)(※4)	○	○	×	×	×	×
	JRE7 Update25(※9)(※4)	○	○	○	×	×	×
	JRE7 Update45(※9)(※4)	×	×	×	○	○	×
	JRE7 Update55(※9)(※4)	×	×	×	○	○	×
	JRE7 Update65(※9)(※4)	×	×	×	○	○	×
	JRE7 Update71(※9)(※4)	×	×	×	○	○	×
	JRE7 Update75(※9)(※4)	×	×	×	○	○	×
	JRE7 Update79(※9)(※4)	×	×	×	○	○	×
	JRE8 Update25(※6)(※6)	×	×	×	○	○	×
	JRE8 Update31(※6)(※6)	×	×	×	○	○	×
	JRE8 Update45(※6)(※6)	×	○	×	○	○	×
	JRE8 Update61(※6)(※6)	×	×	×	○	○	×
	JRE8 Update65(※6)(※6)	×	×	×	○	○	○
	JRE8 Update71(※6)(※6)	×	×	×	○	○	○
	JRE8 Update81(※6)(※6)	×	×	×	○	○	○
	JRE8 Update101(※6)(※6)	×	×	×	○	○	○
	JRE8 Update111(※6)(※6)(※6)	×	×	×	○	○	○
	JRE8 Update121(※6)(※6)(※6)	×	×	×	○	○	○
	JRE8 Update131(※6)(※6)(※6)	×	×	×	○	○	○
	JRE8 Update141(※6)(※6)(※6)	×	×	×	○	○	○
	JRE8 Update151(※6)(※6)(※6)	×	×	×	○	○	○
	JRE8 Update161(※6)(※6)(※6)	×	×	×	○	○	○
JRE8 Update171(※6)(※6)(※6)	×	×	×	○	○	○	
JRE8 Update181(※6)(※6)(※6)	×	×	×	○	○	○	
JRE8 Update191(※6)(※6)(※6)	×	×	×	○	○	○	
入札参加資格申請	-	○	○	○	○	○	○

《凡例》  
○:サポート対象  
×:サポート対象外

※1 コアシステムの制約事項があります。「電子入札システム開発コンソーシアム」掲載の技術情報 TK091028001「Internet Explorer 8にて発生する事象及び対処方法について」をご確認ください。  
ただし、項番が画面が崩れて表示される場合があります。

※2 E8、E9同様、コアシステムの制約事項があります。「電子入札システム開発コンソーシアム」掲載の技術情報 TK091028001「Internet Explorer 8にて発生する事象及び対処方法について」をご確認ください。  
ただし、項番が画面が崩れて表示される場合があります。及び項番が複数ファイル添付時に確認画面の添付資料が横方向に広がる場合は除きます。

※3 Javaのセキュリティレベルが上がり、動作確認時に、以下のポップアップが出るようになりました。  
表示されるJREが継続先の電子入札システムであることを確認し、2箇所のチェックを入れて実行ボタンをクリックし継続してください。  
【注意】JREのバージョンが更新されるため、更新ボタンはクリックしないでください。



※4 JRE7 update 21より、オラクル社から新しいリビジョンが公開された場合、匿名なしアプレットが起動できない仕様となりました。  
暫定対応として、Java コントロールパネルのセキュリティレベルを「高」→「普通標準」に変更してください。  
(セキュリティレベルが、JRE7update 21 から4ヶ月半程度に変更になっています。また、JRE7 update 25 においては、文言(標準)が「中」に変更となります。 JRE7 update 25 の場合は、「標準」を「中」に読み替えてください)  
詳細は「電子入札システム開発コンソーシアム」掲載の「JRE7 update 21についての注意事項」をご確認ください。

※5 Windows8.1,10で利用する場合、コアシステムでのJIS2004の使用制限があります。「電子入札システム開発コンソーシアム」掲載のコアシステム関連情報「電子入札システムでのJIS2004の使用制限について【Windows8.1】」をご確認ください。

※6 JRE8を使用する場合、JRE7以前とは異なる設定(Javaの例外サイトリストの追加)が必要になります。  
設定手順につきましては、「【電子入札】パソコンの設定方法について」をご参照ください。

※7 Edgeはサポート対象外です。

※8 JRE8 update 111より、ProxyサーバでのBasic認証(のパスワード認証)に標準で未対応となります。  
各団体様、業者様のネットワーク環境でProxyサーバのBasic認証を行っている場合、パソコンとサーバの通信ができなくなります。  
その場合の対応につきましては、「【電子入札】パソコンの設定方法について」をご参照ください。

注意事項

※回サポート対象とした理由は、ご利用のICカード発行元がサポートしていない場合もございます。  
ICカードクライアントソフトがサポートする環境については、ご利用のICカード発行元認証局のホームページをご確認ください。  
JREは、32bit版のみに対応しております。64bitマシンにおいても、32bit版JREをご使用ください。

## 2. IC カードと IC カードリーダーの購入

---

電子入札システムを利用するためには、電子入札コアシステムに対応する認証局が発行する有効な IC カードが必要です。

対応の IC カードをお持ちでない場合は、電子入札コアシステム対応の認証局よりご購入ください。IC カードのお申し込みから取得まではおよそ 2 週間～1 ヶ月ほどかかります。

## 3. IC カードリーダードライバーのセットアップ（インストール）

---

認証局より IC カード、IC カードリーダーが届きましたら、付属の設定マニュアルに沿って、IC カードリーダーを使用するためのドライバーや関連ソフトウェアのインストールを行います。

インストール方法に関するご質問は IC カードを購入した各認証局にお問い合わせ下さい。

※この作業はお使いになるパソコン毎に行います。

## 4. Java ポリシーの設定

---

電子入札システムをご利用いただくために、「ポリシー設定ツール」を使用して日本銀行のアドレスを「Java ポリシー」に設定追加する必要があります。

「ポリシー設定ツール」は各認証局によって、IC カードリーダーに添付、またはホームページよりダウンロード等で提供されています。操作手順など詳細は各認証局にお問い合わせください。

◆Java ポリシーに下記アドレスを設定します。

【日本銀行電子入札】

(半角)

※この作業はお使いになるパソコン毎に行います。

## 5. 信頼済みサイトへの登録

---

Internet Explorer のインターネットオプションに「信頼済みサイトへの登録」などの設定を行います。

詳細は、「[電子入札/入札情報システム 事前準備マニュアル～受注者編～](#)」をご参照ください。

## 6. 利用者登録（工事システム／物品・役務システム）

---

使用する IC カードを電子入札システムに「利用者登録」します。「利用者登録」は、参加する分野（工事または物品・役務）別に分かれています。参加する分野のシステムのみに登録します。

詳細は、「[電子入札/入札情報システム 事前準備マニュアル～受注者編～](#)」をご参照ください。

登録が完了すると、電子入札システムをご利用できます。

以 上